地域ねぶた

巨大でプロフェッショナルな見た目のねぶたの山車が全ての注目を集めるかもしれませんが、青森ねぶた祭は、より小規模で、控えめな山車も特徴的です。それらコミュニティねぶたは、地元周辺の人々によって手作りされ、近隣の協会、幼稚園、小学校などを代表します。それらは青森市の周辺を7月下旬から8月中旬にかけて練り歩き、70人にのぼる近隣住民が参加します。祭の始めの2日間である8月2日と3日には、およそ12のコミュニティねぶたが行進の道をいっぱいにします。それらを作るためには多くの努力が注がれ、しばしば地域の創造性によって素晴らしい表現となります。